

2014 アジアジュニアカデ選手権結果報告

第2日目/3月9日(日)

【カデ男子フルール】

<最終結果 1位~3位> 16ヶ国/51名参加

- 1位 CHEUNG Ka Long (HKG)
- 2位 HUANG Mengkai (CHN)
- 3位 CHOI Chun Yin Rayn (HKG)
- 3位 伊藤大輝 (JPN/埼玉栄高等学校)

<日本選手結果>

- 3位 伊藤大輝 (埼玉栄高等学校)
- 6位 永野雄大 (フェンサーズファクトリー)
- 13位 佐々木拓海 (岩国工業高等学校)
- 30位 吉口雄也 (沼津高等学校)

<予選プール>

- 伊藤大輝/4勝1敗
- 永野雄大/5勝0敗
- 佐々木拓海/4勝2敗
- 吉口雄也/2勝3敗

<T32>

- 伊藤大輝 V15 対 14 LIM Christian (SIN)
- 永野雄大 V15 対 7 ABDUNBY Abdul Azi (KUW)
- 佐々木拓海 V15 対 8 GULOM Abdullah (KUW)
- 吉口雄也 6 対 V15 O Chun Yee (HKG) /吉口-敗退

<T16>

- 伊藤大輝 V15 対 13 HUANG Longlong (CHN)
- 永野雄大 V15 対 11 佐々木拓海/佐々木-敗退

<T8>

- 伊藤大輝 V15 対 10 永野雄大/永野-敗退

<セミファイナル>

- 伊藤大輝 4 対 V15 HUANG Mengkai (CHN)

男子フルーレ個人では伊藤選手が銅メダルを獲得した。4名の選手が出場し2回の同国戦があったため2名が日本選手に負け敗退した。各種目韓国が不出場で中国選手が活躍をしている中、男子フルーレ個人は香港選手が1位、3位に入賞した。アジアの中で一歩日本が前進している男子フルーレの力を他国に譲る事なくジュニア・カデへ繋げてゆく。

【カデ女子エペ】

<最終結果/1位～3位> 15ヶ国/33名参加

1位 ZHONG Peiyang (CHN)

2位 ZHANG Xue (CHN)

3位 GENG Jiali (CHN)

3位 LIM Donna (SIN)

<日本選手最終結果>

8位 馬場晴菜 (大垣南高等学校)

12位 吉村美穂 (立命館守山高等学校)

13位 富永恵美 (栃木湘南高等学校)

18位 前田友菜 (富山西高等学校)

<予選プール>

馬場晴菜/2勝1敗

吉村美穂/5勝1敗

富永恵美/4勝1敗

前田友菜/3勝3敗

<T32>

馬場晴菜 V15対14 前田友菜/前田-敗退

吉村美穂 V15対7 FARHAT Noor (NZL)

富永恵美 V15対14 CHAN Wai Ling (NZL)

<T16>

馬場晴菜 V15対14 AW Nicol (SIN)

吉村美穂 6対15V CHENG Ya Fang (TPE) /吉村-敗退

富永恵美 14対V15 ZHANG Xue (CHN) /富永-敗退

<T8>

馬場晴菜 14対V15 LIM Donna (SIN) /馬場-敗退

女子はスタートが男子フルーレの後だったので開始時間も遅くアップも長く取ることが出来た。

当日にプールがシャッフルされるアクシデントはあったが予選を終え全員がT32に進出した。

T32では一本勝負で馬場、富永が試合に勝ち、吉村がリビアの選手に圧勝3名がT16に進出した。

ベスト8をかけた試合では、富永・吉村が落としてしまう中、馬場が4位シードのシンガポールの選手に一本勝負で勝ち上がった。準決勝では相手に上手く誘われてしまいリードしていたのにも関わらず最後に取り切れずに落としてしまった。

全体としては試合の組み立てとチャンスまで待つ自分からアクションをかけて行く事が求められる。身長的にも小柄な日本人が勝っていくにはチャンスまで待つ我慢も必要になってくる。

とはいえ今大会では一本勝負で勝つ場面が多く勝負強さが付いてきた。

【カデ女子サーブル】

<最終結果/1位~3位>8ヶ国/24名参加

- 1位 GUO Tiqi(CHN)
- 2位 ZHANG Yuqi(CHN)
- 3位 SARYBAY Aigerim(Kaz)
- 3位 脇田樹魅 (JPN/JOC エリートアカデミー/稲付中学校)

<日本選手最終結果>

- 3位 脇田樹魅 (JOC エリートアカデミー/稲付中学校)
- 7位 木村 結 (柳井学園高等学校)
- 12位 小林かなえ (聖籠 JFC)
- 22位 白峰杏香 (三島 FC)

<予選プール>

- 脇田樹魅/3勝2敗
- 木村 結/3勝2敗
- 小林かなえ/3勝2敗
- 白峰杏香/1勝4敗

<T16>

- 脇田樹魅 V15対6 ZHONG Yuting (CHN)
- 木村 結 V15対8 TANG Wan To (HKG)
- 小林かなえ 8対V15 POKEAL Tonpa (THA) /小林-敗退

<T8>

- 脇田樹魅 V15対13 LEUNG Cheuk Ling Charmaine (HKG)
- 木村 結 2対V15 Guo Yiqi (CHN) /木村-敗退

<セミファイナル>

脇田樹魅 6 対 V15 ZHANG Yuqi (CHN) /脇田-敗退

今大会は、韓国が不参加で、中国、香港、カザフスタン、フィリピン、タイ、シンガポール、ジョルダンの国が参加した。

予選プールやトーナメント 16 では、試合の組み立てや判断力も良く、上手く相手に対応していた。脇田は、予選では 5 本勝負の難しさに苦戦をしたものの、トーナメントでは予選プールで負けた中国選手に圧勝で勝ち、ベスト 4 をかけた試合でも相手にリードをゆるすことなく勝った。